

子育てのための施設等利用給付認定申請書(法第30条の4第1号・第2号・第3号)

相模原市長あて

次のとおり、子育てのための施設等利用給付認定を申請します。
申請にあたっては、裏面の「重要事項説明」全ての項目について
了解し、同意します。

市使用

記載例(1号)

【利用(予定)施設等】※主なものを1つ記入してください。

利用するサービス	☒ 幼稚園・認定こども園等 ☐ 認定保育室 ☐ 認可外保育施設 ☐ 一時保育(一時預かり事業) ☐ 病児・病後児保育 ☐ ファミリー・サポート・センター事業	申請日	令和7年 11月 10日
施設名称	〇〇〇幼稚園	施設住所	※相模原市内の幼稚園・認定こども園、認定保育室は省略可
利用を希望する期間	☒ 令和 8年 4月 1日 ☐ 年 月 日	～	☒ 小学校就学始期に達する日まで ☐ 年 月 日まで

【認定(申請)区分】※利用希望(開始)日時時点の年齢により、下記申請区分の口をチェックしてください。

申請区分	幼稚園、認定こども園、特別支援学校	認定保育室、認可外保育施設、一時保育、病児・病後児保育、ファミ・サポ	記入が必要な項目
☒ ① 1号	(満3歳以上の児童) ・預かり保育を利用していない児童または 下記②2号、③3号に該当しない児童		表面(1～4)を記入してください。
☐ ② 2号	(令和5年4月2日以前に ・預かり保育を利用していた児童 ・保育を必要とする事由に該当する)	・前に生まれた児童 用(予定)する児童 事由に該当する	両面(1～5)を記入してください。
☐ ③ 3号 市民税非課税世帯のみ	(令和5年4月2日以降に ・預かり保育を利用(予定)する児童 ・保育を必要とする事由に該当する)	・後に生まれた児童 用(予定)する児童 事由に該当する	両面(1～5)を記入してください。

※【認定(申請)区分】申請区分②、③の申請をした場合であっても、保育の必要性が認定できない場合や市民税が非課税でない場合は認定区分を変更する場合があります。

1 【申請に係る児童について】

フリガナ	サガミ ジロウ	日
児童の氏名	相模 二郎	

給付認定は、市内に居住し、児童を監護している(生活面や経済面で児童の面倒を見ている)保護者からの申請により市が認定を行います。
認定を受けることとなった場合、給付認定申請書の「申請保護者」欄に記載のある保護者が「給付支給認定保護者」となります。

2 【保護者等について】

※認定や、副食費補助に関する通知等は、全て「申請保護者」欄に「申請保護者」欄に記載の保護者による手続きが必要です。
※今回の申請児童やきょうだい児で以前に認定を受けている場合、
※同居している内縁の配偶者(届出はないが、事実上婚姻関係にある方は、

※単身赴任等で保護者の住所が異なる場合は、相模原市に居住している方を「申請保護者」として記入してください。

申請保護者		申請保護者の配偶者(ひとり親家庭は記入不要)	
フリガナ	サガミ ハナコ	フリガナ	サガミ タロウ
氏名	相模 花子	氏名	相模 太郎
生年月日	昭和61年 10月 5日 続柄 母	生年月日	父
連絡先電話番号	090 - 1234 - 5678 【どちらか選択してください】 → 市からの連絡先	連絡先電話番号	
現在の住所	〒252-〇〇〇〇 相模原市 中央 区 △△ 1-〇-〇 ※相模原市に転入予定の方は予定日・住所も記入してください。 転入予定日: 年 月 日頃 転入予定住所: 相模原市 区	現在の住所	【相模原市に転入予定の場合】 転入予定日と転入予定住所を記入してください。認定手続きは転入後に行います。 ・具体的な転入予定日が決まっていない場合は、「〇月頃」などわかる範囲で記入してください。 ・転入後の住所が決まっていない場合は、「未定」と記入してください。または区名のみ、町名のみなどでも構いません。
別居の理由	☐ 離婚前提別居(離婚調停〇有 〇無 / 配偶者の生活費負担〇有 〇無) ☐ 単身赴任(〇国内 〇国外) ☐ 失踪 ☐ 拘禁 ☐ その他()		
1月1日現在の居住市区町村(例:〇〇県△△市)	令和7年1月1日 ☐ 相模原市 ☒ 相模原市外 〇〇〇 都道府県 市 区 町村	令和8年1月1日 ☒ 相模原市 ☐ 相模原市外 都道府県 市区町村	令和8年1月1日 都道府県 市区町村

※申請区分が3号の方は、「お知らせ」の【チェックリスト】をご確認の上、該当年度の市区町村民税非課税証明書を取得し、添付してください。

3 【家庭の状況】

ひとり親家庭の場合その事由	☐ 離婚 ☐ 死別 ☐ 未婚 ☐ その他() 事由の発生した日(年 月 日頃)
生活保護の受給	☐ 有(年 月 日より受給 管轄市区町村)

該当する方は、ひとり親家庭になった日(離婚日または事実婚を解消した日など)を記入してください。記入が無いと、副食費の補助対象者の判定が行えない場合があります。

4 【「1 申請に係る児童」「2 保護者等」以外の家族及び同居者の状況】

※生計を同一とする人及び同居者を全て記入してください。※住民票の世帯を分離している祖父母等も同居の場合は記入が必要です。

家族及び同居者の状況	続柄	フリガナ 氏 名	生年月日	同居・別居の別 (別居の場合、その理由)	職業、在籍している学校 幼稚園、保育所等の名称
	兄	サガミ イチロウ	H27 年 7月 7日	☒ 同居 ☐ 別居 理由()	〇△小学校
		相模 一郎			
	祖父	サガミ ジュン	S30 年 2月 1日	☒ 同居 ☐ 別居 理由()	
		相模 潤			
祖母	サガミ ヒバリ	S32 年 4月 22日	☒ 同居 ☐ 別居 理由()		
	相模 ひばり				

記入を誤った場合は、二重線で修正してください。(訂正印は不要です。)

5【保育を必要とする事由】
※表面の【認定(申請)区分】②・③に該当する方のみ記入してください。

		申請保護者					申請保護者の配偶者														
保護者の保育を必要とする事由	就労		求職活動		※		就労		求職活動		※	※その他									
	就労	「①1号」申請(預かり保育を利用しない)の場合は記載不要です。																			
○を記入→																					
「就労※復職」について、育児休業から復職																					
就労※復職	育休等取得状況											□産後									
	育休の取得歴	出生→ある																			
妊娠・出産	出産予定日	年 月 日	出産後の育児休業取得予定	年 月 日	年 月 日																
親族介護	誰の介護をしているか※児童からみた続柄を記入()					誰の介護をしているか※児童からみた続柄を記入()															
災害の復旧・その他																					

「就労※復職」について、育児休業から復職

必ず内容をご確認ください。

【重要事項説明】

※当該認定の申請をもって、下記事項に同意したものとみなします。(同意いただけない場合、給付認定ができません。)

項目	
I	保育を必要とする事由や世帯の状況に変化があった場合等、申請内容に変更がある場合は、必ず申し出ます。(例:仕事を開始した・やめた、別居・同居・離婚・結婚・転居等)
II	施設等利用給付認定や施設等利用費の支給及び副食費免除対象者の把握等に関する情報として、申請内容を必要な範囲で施設や事業者、市関係部署に提供することを了解します。また、必要な範囲で市の他の関係部署が所有している個人情報や課税情報について、情報を共有することについて同意します。
III	市が必要に応じ保護者等及び同居親族の課税情報を課税市区町村の関係部署に確認し、決定した情報を施設に通知することを了解します。
IV	申請書やその他添付書類等の申請内容が事実と異なる場合、給付認定を取り消される場合があることについて了解します。取り消しとなった場合は、利用者負担額等(保育料等)を支払います。
V	生活状況や就労状況等の確認のため、市職員が家庭や職場に連絡や訪問をする場合があることについて同意します。また、保育の必要性について確認するため、追加資料の提出を求められた場合はすみやかに提出します。なお、提出が無い場合は給付認定や変更、期間延長が出来ないことについて了解します。(無償化の対象外となり、実費負担となります。)
VI	給付認定を受けた保護者の変更は、双方の保護者の同意がなければ行えないことについて了解します。なお、申請保護者欄が現在の認定保護者と異なる場合、現認定保護者からの申請として取り扱うことに同意します。

【後日提出する書類】
※期日までにすべての必要書類が提出されない場合、認定ができないことがあります。

後日提出する書類		提出可能日
就労証明書	☐ 申請保護者	月 日 ごろ
	☐ 配偶者	月 日 ごろ
自営業等就労状況報告書	☐ 申請保護者	月 日 ごろ
	☐ 配偶者	月 日 ごろ
診断書	☐ 申請保護者	月 日 ごろ
	☐ 配偶者	月 日 ごろ
	☐ その他()	月 日 ごろ
()	☐ 申請保護者 ☐ 配偶者 ☐ その他()	月 日 ごろ
()	☐ 申請保護者 ☐ 配偶者 ☐ その他()	月 日 ごろ